

シナイモツゴを守るために

駆除のザリガニ食べて活用

宮城県大崎市鹿島台のNP
O法人「シナイモツゴ郷の会」
はシナイモツゴを守るため、
特許を取った装置を使い、た
め池で定期的にアメリカザリ
ガニを駆除しています。捕獲
ザリガニの有効活用の一環と

して、鹿島台小5年のこども
記者8人は、ゆでたザリガニ
を試食しました。

理事長の高橋清孝さんは
「捕獲後に塩水で飼育してか
らゆでると、うま味が増しま
す」と話します。早速手を伸

ばしたこども記者。殻のむ
き方を教えてもらい口に入れ
ると「おいしい」と驚いた
様子でした。「エビの味だ」
「カニにも似ている」と感想
を話しました。



⑤アメリカザリガニの試食に挑戦
(ちようせん)するこども記者
⑥「シナイモツゴ郷の会」が特許を
取ったアメリカザリガニ捕獲装置を
見せてもらうこども記者

経験を伝えていく

ザリガニを食べることに驚きました。
食料危機でもないのに、なぜザリガニを
食べないといけないのか。その理由を考
えることは、シナイモツゴに興味を持つ
ことにもつながります。ザリガニを食べた
経験を、身近な人に伝えていきたいです。



石川耀一朗さん

地球温暖化解決を

水温が高くなるとシナイモツゴを襲うザ
リガニが増えるという話が印象に残りま
した。地球温暖化問題も解決しないといけ
ないと思いました。人間が外来種を放流し
たために絶滅危惧種になったと知り、保護
活動は大切だと感じました。



川口 陽さん

再発見の話が心に

ブラックバスが放流され、シナイモツゴ
が数えるほどしかいなくなってしまったこ
とや、1993年に高橋さんが再発見したとき
の話が心に残りました。シナイモツゴをみ
んなに再認識してもらえるように、学んだ
ことを広めていきたいです。



今野乃愛さん

大事なため池守る

シナイモツゴが1993年に鹿島台のため池
で再発見されたニュースは、全国でも流れ
たそうです。ブラックバスやアメリカザ
リガニを駆除したら、ヤゴやトンボなどが
増えました。ため池を守ることは大事な
んだと思いました。



佐々木柚奈さん

取材を終えて

稚魚の放流頑張る

シナイモツゴを増やすために、学校で稚
魚を育て放流することを頑張りたいです。
ため池にごみを捨てないことやザリガニを
おいしく食べて有効活用することも大切で
す。ザリガニのおいしさを家族や友だち
に伝えていきたいです。



佐藤璃来さん

オス 卵守り怖い顔

シナイモツゴのオスは縄張りや卵を守
るため、怖い顔つきをしていると知りまし
た。分かりやすい解説で、自分も上手に
説明できる人になりたいです。ザリガニを
捕まえるわなは、明るい場所が苦手という
習性を生かして作られていました。



高埜あかりさん

おいしさ広めたい

高橋さんはシナイモツゴを再発見して以
来、大切にしようと活動が続けてきたこ
とが分かりました。ブラックバスを放流
する人がいなくなるように、みんなで話
し合って看板を作りたいです。ザリガニの
おいしさも広めたいです。



武山碧那さん

新聞通して興味を

シナイモツゴのオスは卵を敵から守る
ために、顔が怖くなっていくそうです。面
白いと思いました。ザリガニが食べられる
なんて、衝撃でした。新聞を通してみん
なにも興味を持ってもらい、ため池に放
流してはいけない生物を知らせたいです。



門間晴大さん